国分排水区大規模雨水処理施設整備事業計画(柏原市)

(様式1)

項目	内容・施策等
選定理由	柏原市大和川下流東部流域関連公共下水道(大井処理区)の国分排水区では、昭和40(1965)年度に国分第1雨水ポンプ場の供用を開始した後、昭和61(1986)年度に国分第2雨水ポンプ場、昭和62(1987)年度に国分市場第1雨水ポンプ場がそれぞれ供用開始している。供用開始から34年以上が経過しており、老朽化が進行している。これらの施設・設備について適切な機能確保を図り浸水被害を防止するため、集中的な雨水処理施設の改築を実施する必要がある。
整備目標	 ① 本計画における対象降雨 ハード整備による整備水準の目標は 48.4mm/h (10 年確率降雨)とし、これを上回る降雨に対してはソフト対策、自助を推進する。降雨確率年の設定については、柏原市流域関連公共下水道事業計画における計画降雨とした。 ② 目標設定老朽化した雨水ポンプ場のポンプ設備等の改築を行う事により、施設の機能停止に伴うリスクを軽減する。
	③ ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について i)ハード対策 施設整備により 48.4mm/h (10 年確率) の降雨において浸水被害を防止することを目的とする。 ii)ソフト対策及び自助 施設整備で対象とする降雨量を上回る既往最大降雨 93 mm/h において、下水管理者による内水ハザードマップの作成、ホームページへの掲載その他の必要な措置を講じ、住民等へ周知し、浸水被害の軽減を図る。

項目	内 容 ・ 施 策 等								
内水ハザ									
ードマッ	・ (有) (平成 31 年 4 月策定済み 既往最大降雨量)								
プ策定状									
況			,						
主な	公	ハード	下水道管理者	・雨水ポンプ場のポンプ設備等の改築					
事業	助	対策							
内容				国分第1雨水ポンプ場 1.00m3/秒(計画 1.00m3/秒)					
				国分第 2 雨水ポンプ場 7.16m3/秒(計画 13.25m3/秒)					
				国分市場第1雨水ポンプ場 2.33m3/秒(計画 2.33m3/秒)					
			下水道管理者	_					
			以外						
		ソフト	下水道管理者	・内水ハザードマップの作成、公表					
		対策		・ホームページや SNS による情報発信					
			下水道管理者	・総合防災マップの作成、公表(危機管理課)					
			以外	・緊急速報メール(危機管理課)					
	自	ハード		_					
	助	対策							
		ソフト		・自主防災訓練					
		対策							

年度計画(百万円)

名称	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 ~令和15年度	計
国分第1雨水ポンプ場	6	0	0	221	0	227
国分第2雨水ポンプ場	272	741	486	13	975	2,487
国分市場第1雨水ポンプ場	0	138	210	0	400	748
∄ †	278	879	696	234	1,375	3,462

項目	内 容 ・ 施 策 等							
整備効果	・ハード対策							
	老朽化が進んでいる雨水ポンプ場において、ポンプ設備等の改築により、雨水排水機							
	能を適切に確保する。(経過年数は令和2年度末現在)							
	国分第 1 雨水ポンプ場 56 年経過 1.00m3/秒							
	国分第 2 雨水ポンプ場 35 年経過 7.16m3/秒							
	国分市場第 1 雨水ポンプ場 34 年経過 2.33m3/秒							
	・ソフト対策 内水ハザードマップによる情報提供により、浸水被害の軽減を図る。							
放流先河								
川との調								
整状況								

国分排水区大規模雨水処理施設整備事業計画(柏原市)

